

新しい図書館が始まる
新しい物語

長い間親しまれてきた高瀬町図書館が老朽化のため閉館したことにより、みとよ未来創造館1階に、新たに「みとよ未来図書館」が開館しました。訪れた人が読書をするだけではなく、交流したり憩いの時間を過ごしたりできるようにとの願いを込めて、広々とした空間に生まれ変わりました。

蔵書数は、約42,000冊。絵本や児童書のスペースと、小説や実用書が並ぶスペースがすっきりと分けられ、思い思いの過ごし方ができるようになっています。

今後は、この「みとよ未来図書館」が市内の図書館の中で、中央館としての機能を担い、さらに連携を深めた図書館運営に取り組んでいきます。可能性に満ちた図書館の新しい物語がここから始まります。

▼問い合わせ

生涯学習課 ☎73・3135
みとよ未来図書館 ☎72・5631

オープニングイベント

開館初日には、100人を超える市民の皆さんが集まり、図書館のオープンを盛り上げてくれました。



▲市長と教育長によって、看板の幕が下ろされると、大きな拍手が送られました



▲返却ポストをデザインした高瀬中学校美術部の皆さんも参加



▲来場者先着100人には、記念品をプレゼントしました



①開館当日、館内は多くの人の姿が見られました。皆さん、新しい図書館に興味津々の様子②中央の図書コーナーには、子どもが本を探しやすい高さの棚が並びます

NEW OPEN

本と人、人と人をつなぎ、未来を拓く空間

みとよ未来図書館

Since 2018.4.1

三豊市に新しい図書館が誕生しました。
その名も「みとよ未来図書館」
今月は、オープニングイベントの様子と館内の紹介を通して、
みとよ未来図書館の魅力をお伝えします。



館内に入ると、まるで大木を思わせるような印象的なコーナーが目の前に広がります。ゆったりとしたスペースで、読書や学習が楽しめます

みとよ未来図書館には たくさんのワクワクが詰まっています



窓際の本棚には、日本と外国の絵本が並んでいます。表紙を見て選びやすい工夫がされています



地理や歴史、伝記などの児童書はここに。中央の棚には、乗り物や恐竜など人気の本を配架



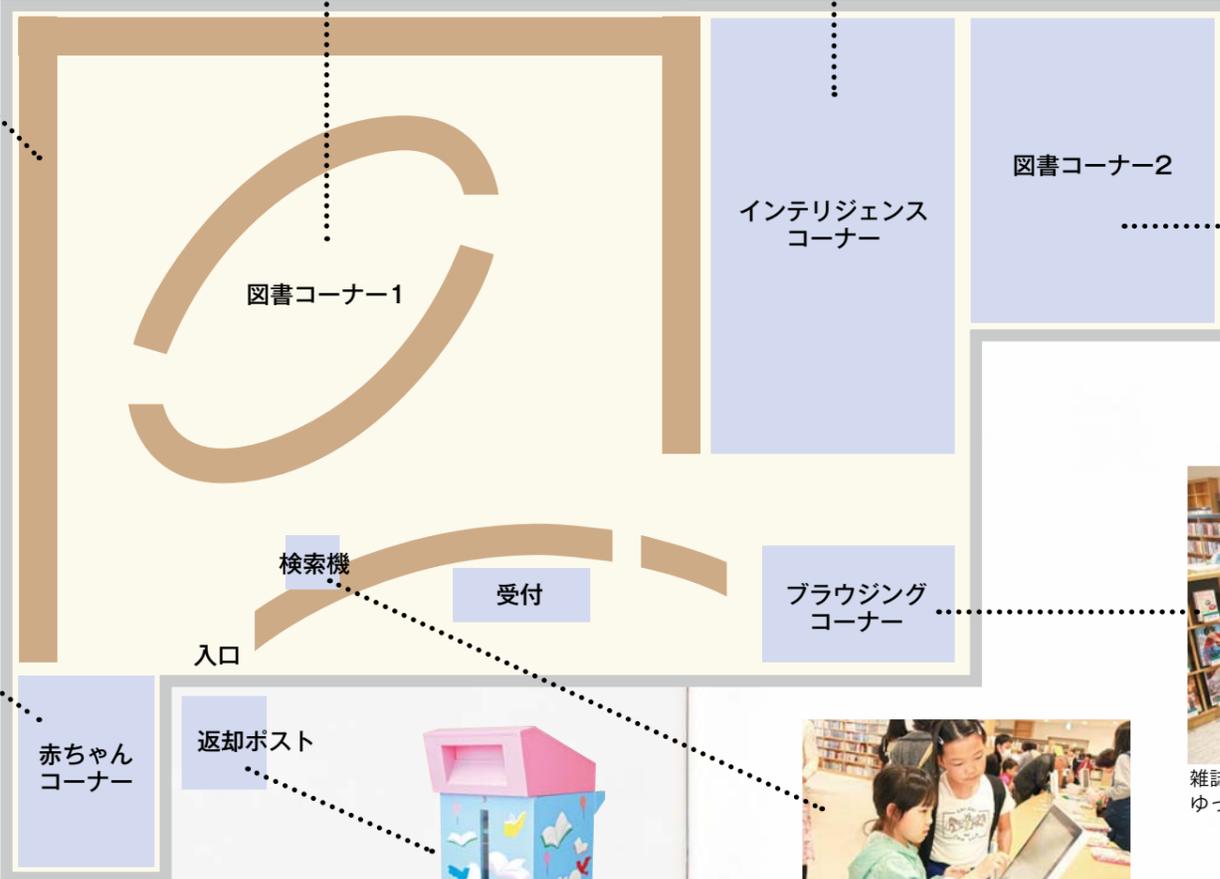
主に小説などの一般書とビジネスや研究に関する本を配架。個別のデスクがあり、調べ物や学習に集中できるスペースになっています



主に一般書と郷土資料を配架。このコーナーには、ふた付きの飲み物が持ち込めます



雑誌や美術書を配架。テーブルに座って、ゆっくりと新聞を読むこともできます



靴を脱いで入る赤ちゃんコーナーには、0~2歳児向けの絵本や紙芝居などのほか、子育て関連の本が集められています。おはなし会もここで開催されます



タッチパネルの検索機で、お目当ての本を探せます

来館者インタビュー

初めて、みとよ未来図書館に来た感想を聞きました！

広くて、きれいで、本もたくさんありました。今日借りた絵本は、寝る前に読んでみようよ。



藤田瀬那くん(2歳)

読みたい本がたくさん見つかりました。これからいっぱい通って、本を借りたいです！



市内小学生

じっくり学習したいとき、ゆっくり本を読みたいとき。用途に合わせて設けられたスペースでは、自分流の図書館時間が過ごせます。

ここに注目！ 返却ポストもリニューアル

新しい図書館の開館に合わせて、高瀬中学校美術部の皆さんが返却ポストを塗り直してくれました。デザインから考え、下書き、色塗りの作業を実施。高瀬の山々と青い空、自由に舞う本を描いた爽やかな返却ポストへと生まれ変わりました。

参加した部員の皆さんは、「たくさんの人に使ってもらおうポストなので、協力して仕上げました。地域の返却ポストとして、長く大切に使用してほしいと思います」とコメント。入口を通るたびに、明るい気持ちになれますね。



▲高瀬中学校美術部の1、2年生がデザインし、本を返すのが楽しくなるポストが完成



▲丁寧に色を塗る作業。完成までに約7時間かかりました